

<委員会報告：社会奉仕委員会：平田洋一社会奉仕委員長>

2015年3月11日 J E T Oみやぎ寄付金贈呈



3・11に合わせ宮城県にあるNPO J E T Oみやぎさんへ崎谷会長・大川幹事・平田3名で行ってまいりました。

まだ、宮城県は千葉と違ってかなり寒く粉雪がちらちら降っていました。

4年前の事を思うと、こんなに寒い中、海に浸かるなんて考えるだけでも凍えそうでした。

寄付金贈呈式前に、理事長の菅原氏と現況のお話をさせて頂きました。

4年前は84名の遺児・孤児の支援が、現在では65名になり、年10万円の援助金を一人20万円にすることが今年の理事会で決まったことや、当時の悲惨な状況のお話を聞かせて頂きました。

JETOみやぎさんのホームページに載ってますので時間があつたら見てください。

<http://www.jeto-miyagi.org>

<お知らせ：クラブ奉仕委員会：森谷充伯委員長>



新入会員「小澤会員・柳会員」の親睦会を下記の通り開催いたします。
つきましては、先輩会員からの暖かく深みあるアドバイス等々も賜りたく思います。皆様の参加をお願い申し上げます。

日時：2015年4月14日（火）18：00 開催

場所：割烹 大門 竜 松戸市東平賀42-2 047-346-0057

会費：3,000 円



インド旅行より

ルンビニ公園
途中にある誕生の象

「天上天下
唯我独尊」



ルンビニ公園
はかなり広く
入口から人力
車で10分程度
移動しそこから
徒歩15分で
やっと生誕の
場所に到着、

途中に各仏教
国のジンが点

在しその国の寺院建築の様式が見学出来る。

社会奉仕基金 2,638円

《会報編集委員》織田 証・正司 進・大川高明

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2051回 例会 2015年3月17日（火）

- 国際ロータリー会長 ゲイリー-C.K.ホアン
- 例会日 - 毎週火曜日12：30より（第1例会18：30）
- 第2790地区ガバナー 宇佐見 透
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 びわ亭
- 第12分区ガバナー補佐 高崎 信昭
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101
- 松戸北ロータリークラブ会長 崎谷 延好
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 大川 隆永
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

WEEKLY REPORT

<第2051回：例会プログラム>



12:30 点鐘	崎谷延好会長	
ロータリーソング斉唱		
【♪我等の生業】		
12:33 お客様紹介	小澤盛明会長エレクト	
12:35 会食		
13:00 例会再開		
会長挨拶・理事会報告	崎谷延好会長	
幹事報告	大川隆永幹事	
13:25 【委員会報告】		
■社会奉仕委員会	社会奉仕基金発表	平田洋一委員長
■ニコニコ委員会	本日のニコニコ発表	三村藤明委員長
13:30 点鐘	崎谷延好会長	

<会長挨拶・理事会報告：崎谷延好会長>

皆さんこんにちは。
 だいぶ暖かくなり、後10日もすれば桜の話題が挨拶の代名詞となってくると思います。
 先日の3月11日に仙台の遺児孤児支援団体「JETOみやぎ」に平田社会奉仕委員長、私と幹事の3名で行き支援金の贈呈と正会員として入会手続きをしまりました。後ほど平田委員長から詳しく報告してもらいます。



常磐道を使いましたが新しく開通した富岡-浪江間には除染の為に集められた土砂が黒い袋に詰め込まれ、おびただしい数であちこちに並んでいました。そのような光景を目の当たりにしますと放射能の影響で故郷から離れ、避難生活を余儀なく強いられている方々の事がお気の毒でなりません。

人は生きて行くことの間にはさまざまな苦悩を味わう事は当たり前の事と思って生活していますが何ともこの目に見えない怪物だけは扱うべきでなかったような気がします。エネルギーを安いコストで得る事は国際競争を勝ち抜くために不可欠な事は理解できますが今回のように何かあった時、人間の力ではコントロールできない原子力は扱うべきではないと思います。そして人間生きて死ぬ、できれば自分の努力で解決できる問題の範囲で生活できればと勝手に思う心境でした。

以上

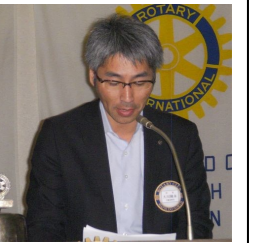
■3月「識字率向上月間」 Literacy Month■

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結する、という観点から、各クラブの既存のプログラムを通して、識字率向上に取り組んでいます。



WEEKLY REPORT

<幹事報告：大川隆永幹事>



■松戸中央ロータリークラブ
 3月26日(木)は夜間移動例会(観桜会)とさせていただきます。
 場所 韻松亭 17:30点鐘

■松戸西ロータリークラブ
 例会場変更のお知らせ
 6月2日(火)の例会より例会場及び例会日を下記の通り変更いたします。
 場所 伊勢丹松戸店11階バンケットルーム(松戸市松戸1307番1)
 例会日 水曜日 ⇒ 火曜日(第3週は夜間例会)
 ビジターフィー2,000円 ※7月より3,000円に変更

事務局は従来どおり変更ありません。

<次年度へ向けて：小澤盛明会長エレクト>

次年度へ向けて

次年度会長職を仰せつかりました小澤です。
 次年度へ向けてということですが、本来人前で話したりすることが大の苦手で、面倒くさがりな性格のため、毎例会挨拶がある会長職に、一番ふさわしくないと感じていたのですが、今回大役を承ることとなりました。この1年を通して少しは、克服できるような希望を抱きつつ、諸先輩方が培ってきた松戸北ロータリークラブの伝統を尊重し、できる限りの努力をさせていただきたいと思えます。



さて、近年突発的な大災害が世界中で多発しております。日本では、大地震・津波・ゲリラ豪雨・突風被害等多岐にわたる自然災害が目立ちます。東日本大震災においては、原発事故による放射能汚染が発生し、先が見えない状況になっております。微力ながら支援活動を継続し、1日も早い復興の手助けができればと思います。

また、関東大震災が噂される中、自分たちが、「どのような準備をしなければならないか？」を改めて考えなくてはいけないのではないのでしょうか。

「転ばぬ先の杖」ということわざがありますが、自然災害を防ぐことは出来ません。発生したときのために、ロータリアンとして「どのような行動をとれば良いか？」家族・地域住民に対して出来ることを皆さんと一緒に考える年になるようにしたいと思います。

何をするにも、一人では出来ません。松戸北ロータリークラブの皆さんのお力添えが必要です。微力ながら精一杯努めさせていただきたいと思えますので、皆様のご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

■3月「識字率向上月間」 Literacy Month■

世界で9億人以上の人々は読み書きができません。その3分の2は女性です。成人、そして子供に向けて、読書のプログラムを企画する事や、学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助する

